



妥協のない

モダナイゼーション:

IAPをArubaOS 10にアップグレードする8つの理由

ArubaOS 10にアップグレードする 主なメリット

- **追加コストが不要**—AOS 10へのアップグレードは、Central AP Foundation / Advancedライセンスに含まれています。追加購入は必要ありません。
- **既存のインフラストラクチャを使用**—AOS 10は、3xxシリーズAP、5xxシリーズAP、6xxシリーズAPで利用できます。新しいハードウェアの推奨の有無については、[対応デバイス](#)を参照してください。
- **スケールの拡大**—ローミングドメインが128 APから500 APに拡張され、複数のローミングドメインがサポートされるようになりました。また、AOS 10のゲートウェイ展開を使用して、クラスターあたり16,000 APにまでスケールアップすることもできます（複数クラスターをサポート）。
- **インサービスのライブアップグレードによるダウンタイムの解消**—APのみの展開では初めて、メンテナンスウィンドウなしにファームウェアをアップグレードできます。この利点を活かすためにコントローラーは必要ありません。
- **AIを活用したRF最適化**—機械学習ベースの機能である[AirMatch](#)により、パフォーマンスを向上させて干渉を最小限に抑えるように、RF設定のプロアクティブな調整が行われます。この利点を活かすためにコントローラーは必要ありません。
- **すべてのAPに対応したSD-WAN機能による最適化**—[マイクロブランチ機能](#)に対応したAPのプロビジョニングと構成が可能です。さらに、ヘッドエンドゲートウェイがVPNコンセントレーターとして機能し、WAN、LAN、クラウドセキュリティのサービスの最適化と制御が行われます。
- **WLAN上でIoTサービスを統合**—AOS 10 APを使用するエコシステムパートナーとの間で[IoTデータを相互転送](#)することで、インフラストラクチャのオーバーレイを減らします。
- **ゲートウェイのシームレスな導入**—Aruba Centralを使用して、APのみとゲートウェイベースのWLANの展開（ミックスモードとトンネルモード）を管理し、複数のネットワークのオーケストレーションを効率化できます。

ArubaOS 10の紹介

お使いのAruba Centralで管理するアクセス ポイントおよびゲートウェイ向けの分散型次 世代オペレーティングシステム



ArubaOS 10とは

ArubaOS 10 (AOS 10) はAruba Centralの分散型ネットワークオペレーティングシステムであり、Arubaアクセスポイント (AP) およびオプションのゲートウェイを制御します。ネットワークチームは、AOS 10の柔軟なアーキテクチャーにより、小規模オフィス、中規模ブランチ、大規模キャンパス環境、リモートワーカーの環境に、信頼性の高い安全な無線接続を提供できます。クラウドネイティブのAruba CentralをAOS 10と組み合わせることで、WLANの管理と制御を行い、より高度な拡張性とセキュリティを実現し、AIによる最適化を活用できます。

Aruba Central Cloudは、世界中で200万台以上のアクセ スポイント、スイッチ、ゲートウェイを管理

AOS 10にアップグレードする理由

AOS 10を使用すると、APとゲートウェイのオンボーディング、構成、プロビジョニングを簡素化できます。CLIを手動で構成したり、メンテナンスウィンドウを設ける必要がありません。APを接続すると、ゼロタッチプロビジョニングでデバイスが接続し、クラウドから実行中の設定を受け取るため、リモートワーカーやオフィスは現場のITサポートなしで無線接続をオンボードして構成できます。

次の課題のいずれか一つ以上に当てはまる場合は、AOS 10にアップグレードしてAruba Centralのネットワークを強化することでメリットが得られます。





ネットワークの課題

AOS 10に更新する理由と ライセンス要件について

1. サイトごとのアクセスポイント数を増やして、増大するユーザー数と接続デバイスに対応しようとしている。
 - AOS 10では、ローミングドメインの上限を引き上げて、500台のAPまたは最大5,000台のクライアントに対応することができ、複数のローミングドメインがサポートされます。また、AOS 10のゲートウェイを展開して、最大16,000台のAPと100,000台のクライアントをサポートできます（複数クラスターもサポート対象です）。
 - ライセンス要件: 新規または既存のAruba Central AP FoundationまたはAP Advancedライセンス。
2. RFプランニングが複雑化の一途をたどっている。
 - AOS 10は、AIを活用したAirMatchを搭載しています。これは、機械学習を利用してスペクトラムの利用を効率化するRF最適化テクノロジーであり、干渉を回避しながら、チャネルと伝送出力をインテリジェントに選択します。
 - ライセンス要件: 新規または既存のAruba Central AP FoundationまたはAP Advancedライセンス。
3. リモートやハイブリッド環境で業務を行う従業員に、オフィスと同様の業務環境を提供することを求められている。
 - AOS 10を利用すれば、APごとにWAN、LAN、およびセキュリティサービスを単一のフォームファクターで提供できます。リモートサイトに出荷されたAPはゼロタッチプロビジョニングを経て、仮想/物理ヘッドエンドゲートウェイとの間に安全なインターネット接続を確立します。
 - 新規または既存のAruba Central AP FoundationまたはAP Advancedライセンス。
4. 新しいIoT/OTインフラストラクチャやサービスが多すぎて、現状のITアーキテクチャーでの対応に苦慮している。
 - AOS 10は、さまざまなパートナーのIoTデータをAPがエンタープライズWLANを介して伝送可能にすることで、IoTサービスに対する統合型のアプローチを提供します。
 - ライセンス要件: 新規または既存のAruba Central AP FoundationまたはAP Advancedライセンス。
5. ネットワークのメンテナンスを先延ばしするよう依頼されることがよくある。アップグレードの管理にかかる時間が増え続けている。
 - 十分なネットワークインフラストラクチャが配備されている場合、AOS 10では、インサービスのライブアップグレードを使用して、エンドユーザーのネットワーク接続への影響なしに、ネットワークのメンテナンスを行うことができます。
 - ライセンス要件: 新規または既存のAruba Central AP FoundationまたはAP Advancedライセンス。
6. レイヤー3ローミングの使用を計画している。
 - AOS 10のAP展開にAOS 10のゲートウェイを追加することで、大規模な分散ネットワーク全体でシームレスなローミングを実現できます。
 - ライセンス要件: 新規または既存のAruba Central AP FoundationまたはAP Advancedライセンス（ゲートウェイが必要）。
7. RADIUSサービスや802.1Xネットワークの認証を1カ所で行うようにしたい。
 - ネットワーク上のすべてのAPをネットワーク認証サーバー(NAS) クライアントとして追加する代わりに、1つ以上のゲートウェイをRADIUSプロキシとして使用して、構成を簡素化することができます。
 - ライセンス要件: 新規または既存のAruba Central AP FoundationまたはAP Advancedライセンス（ゲートウェイが必要）。
8. ゲストアksesを、分離されたネットワークとして安全に管理する必要がある。
 - 1つのキャンパス内の同じAOS 10 APで、分離されたゾーンやクラスター内にあるゲートウェイへのトラフィックを暗号化して転送することで、ネットワークを分離してセキュリティを確保することができます。
 - ライセンス要件: 新規または既存のAruba Central AP Advancedライセンスのみ（ゲートウェイが必要）。



主要製品

製品名

製品の説明



Aruba Central— クラウドネイティブ なネットワーク管理

Aruba Centralは、HPE GreenLake Edge-to-Cloudプラットフォーム上にホストされるSaaSソリューションであり、すべての管理システムの更新とメンテナンスがクラウドで処理されます。Aruba Centralは、プライベートデータセンター内のサーバーアプライアンスに展開することもできます。[詳細はこちら](#)。



ワイヤレスアクセス ポイント (Aruba AP)

各種標準に準拠したAruba APIは、Wi-Fiデバイス向けに安全なマルチギガビットワイヤレス接続を提供し、BLEおよびZigbeeプロトコルをサポートしており、屋内、屋外、危険な場所などのさまざまな展開シナリオに対応できるように設計されています。[詳細はこちら](#)。



Arubaネットワー クアクセス / アグリゲー ション / コアスイッチ

拡張性に優れた常時稼働のハイパフォーマンスを発揮するArubaネットワークスイッチは分析機能を内蔵しており、ネットワークのアクセス/アグリゲーション/コアレイヤーに配備されクライアント、アプリケーション、およびサービスのトラフィックを集約してエンタープライズネットワークのバックボーンとして機能します。[詳細はこちら](#)。



ゲートウェイ (Aruba ゲートウェイ)

ハイパフォーマンス、トラフィックやデータの区分け、ローミング、VPN、SD-WANサービスを提供するArubaゲートウェイはAruba Centralで管理され、オンサイトまたはクラウド環境に展開されます。これらのゲートウェイは、エンタープライズ環境で高度なセキュリティ機能、ルーティング機能、パフォーマンス機能を必要とする企業向けに設計されています。[詳細はこちら](#)。



リソース

Aruba Centralの詳細はこちら:

<https://www.arubanetworks.com/resource/why-add-central-to-iap-deployments/>

さあ、始めましょう。こちらからスタート:

<https://www.arubanetworks.com/ready-for-arubaos-10>

アップグレードのプランニングに関する関連リソースについては、次の検証済みソリューションガイドをご覧ください:

<https://www.arubanetworks.com/techdocs/VSG/docs/035-campus-migrate/esp-campus-migrate-030-planning-iap/#bridge-mode-ap-and-client-scaling>

最適な導入検討を。
HPEのプリセールススペシャリストに
お問い合わせください。



お問い合わせ

クラウド管理ネットワークの詳細はこちら:

<https://www.arubanetworks.com/readyforcloud/>

© Copyright 2023 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、すべて当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

必要に応じて、商標に関する表記を挿入。すべてのサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

a00130665jpn